

門別競馬場きゅう舎建設用地整備工事
(森林伐採等)

特 記 仕 様 書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

1. 総則

1-1. 工事の名称

門別競馬場きゅう舎建設用地整備工事（森林伐採等）

1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）

TEL 01456-2-2501

FAX 01456-2-2503

理事長 大鷹千秋

1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-5

1-4. 工事の目的

当該箇所において、きゅう舎新築工事に必要な建設用地整備工事（森林伐採等）を実施する。

1-5. 概要

本工事は、森林法第 10 条の 2 項第 1 項による林地開発行為の許可及び都市計画法第 29 条第 1 項の開発行為許可での工事となる

工事施工者決定後、工事施工者は速やかに必要書類を整理し、林地開発行為着手届とともに提出すること。開発行為については、工事施工者は変更申請及び工事着手届の提出すること。

また、本工事では以下の工種における工事を実施する。

敷地造成工	1 式
雨水排水設備工	1 式
敷地外施設整備工	1 式
仮設工	1 式
準備工	1 式

1-6. 工期

令和 6 年 3 月 29 日まで とする。

2. 適用

2-1. 適用基準（すべて最新版）

- 「土木工事共通仕様書」
- 「土木工事施工管理基準」
- 「写真管理基準」
- 「北海道建設部土木工事共通仕様書」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

3. 特記仕様書

3-1. 土工事

工事は施工区域外への出水及び土砂流出を防止するために防災工事（調整池兼沈砂池、素掘側溝、浸透施設）の施工（掘削）から開始すること。防災工事完了時には、林地開発行為の部分完了検査を受検すること。

掘削範囲内に腐植土層があることを想定している。当該腐植土層は盛土に流用することとしているが、流用にあたっては盛土に適した改良土とすること。改良材の添加量は原位置土を採取し室内試験等にて決定すること。

3-2. 雨水排水設備工

(1) 貯留池

貯留池はのり面構造とし張芝を考えている。流入部にはフトンカゴを設置し、流末はオリフィス柵から浸透施設への接続としている。

(2) 浸透施設

浸透柵、浸透トレンチ管ともポーラスコンクリート製とする。周囲に置換材碎石を設置し透水シートで被うこと。浸透施設の基礎部は良好な基床を構築した上に敷砂（ $t=10\text{cm}$ ）を施工すること。

(3) 沈砂池・素掘側溝

沈砂池・素掘側溝ものり面構造とし張芝とする。

3-3. 敷地外施設整備工

(1) 国道歩道切下部

施工に先立ち、周囲の状況を詳細に把握し記録すること。また、作業時間、作業範囲、作業内容、安全対策等について関係機関と協議の上施工すること。特に道路付近の配電線の安全対策として、事前に電力会社へ防護管等の設置依頼を協議すること。

3-4. 仮設工

(1) 仮設道路

仮設道路は不陸整正を行い、再生骨材（40mm級・t=30cm）を敷均し入念に締め固めること。

(2) 仮設柵

仮設柵は、丸パイプ土中打込み式（H=300cm）を考えている。

3-5. 準備工

先行伐採及び伐根施工の範囲は、工事車両進入路および防災工事の範囲となる。防災工事検査合格後、森林伐採（伐根なし）工事となる。

伐採した樹木については、売却処理とする。雑木パルプ材やバイオマスチップ等高く売却できる方法を監督員と協議し、承諾を得て実施すること。

3-6. 使用資材について

本工事に使用する製品及び材料は、設計上の規格・グレード等を標準仕様として示している。

3-7. その他

(1) 工事期間中の安全対策

競馬開催日には、総合的な安全対策を行うことと

(2) 工程計画に関する注意事項

競走馬への配慮が必要なことから大きな音を伴う工事については、監督員と事前に協議し調整すること。

(3) 設計変更への対応

設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする。

開発区域位置図

A1 S=1/10000
A3 S=1/20000



